

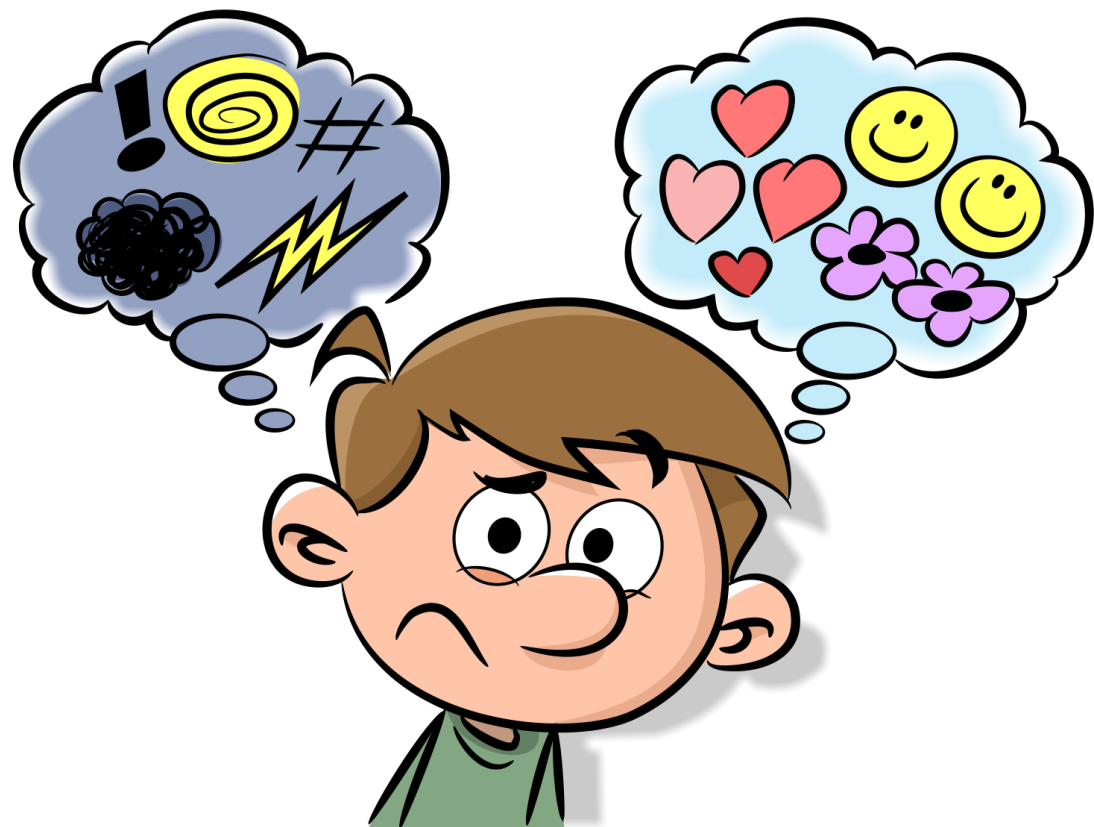
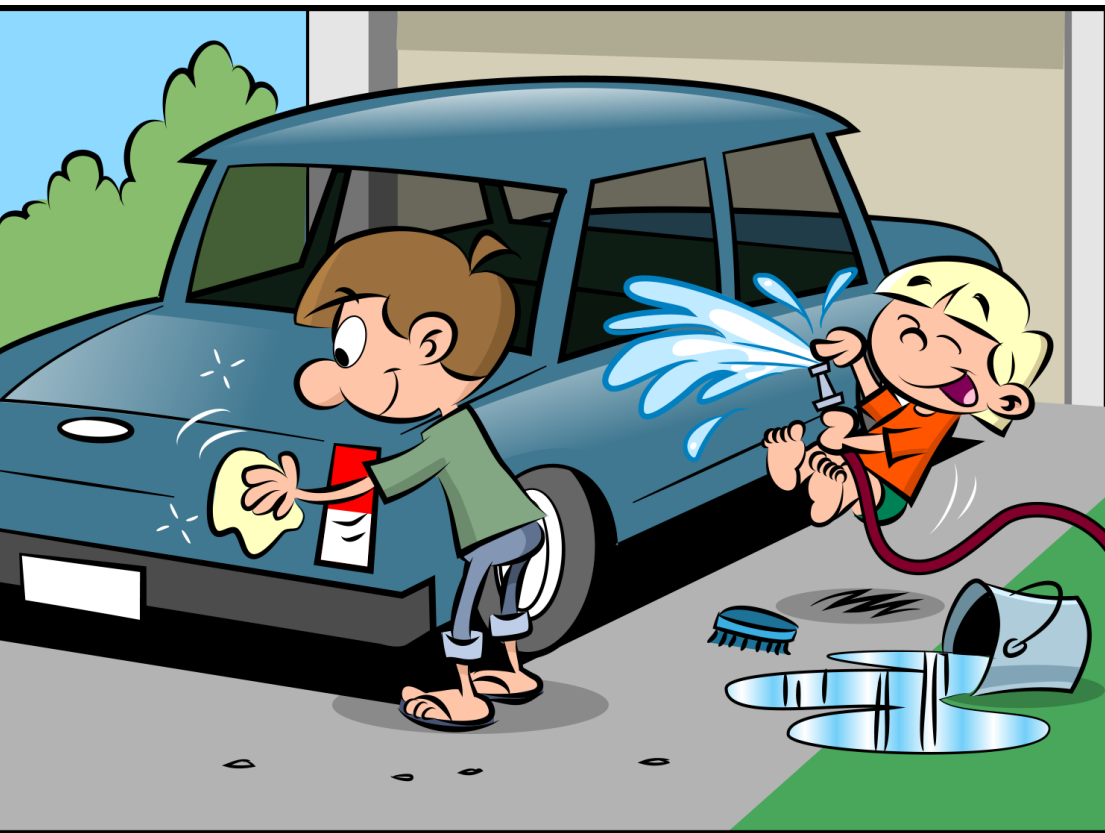
コートを着る



サム: イエス様、^{さま}ぼくは、^{しんせつ}どうしても親切で、^{きぶん}やさしくする気分になれない
ことがあります。^{たと}例えば、^{まえ}この前は、^{ゆか}ぼくがダイニングルームの床を
はいていた時、^{とき}弟は^{おとうと}テーブルをふいていて、^{ゆか}ぼくがはいたばかりの床に、
^た食べ物の^{もの}くずを^おみんな落としちゃったんです。

イエス様: ^{さま}わかるよ。そう、^わいったことがあると、^{じゅうぶん}十分な^{あい}愛を
^も持てないんだね。だからこそ、^{きみ}君を^{たす}助けるためにわたしが
いるんだ。わたしは^{まほう}魔法の^{あい}愛で^{きみ}君をおおって、^{ふかい}そういった
不快な^{きぶん}気分をふっとばしてあげよう!

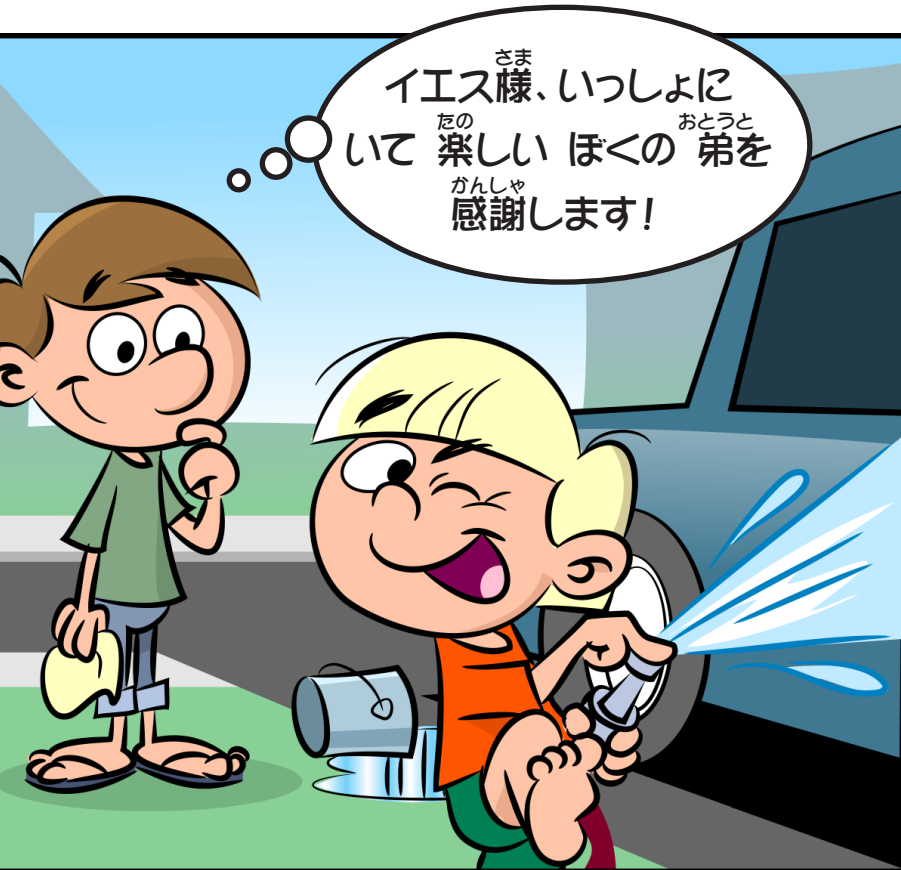
イエス様：保護バリアーが どんな ものか、考えてごらん。わたしの
愛も、それと 似た 働きをするんだ。賛美をもって この 保護バリアーの
中に入ると、わたしへの 経路が 開かれ、わたしが 君や 君の 周りに
もっと たくさんの 愛を 振り注ぐことができるようになるんだよ。



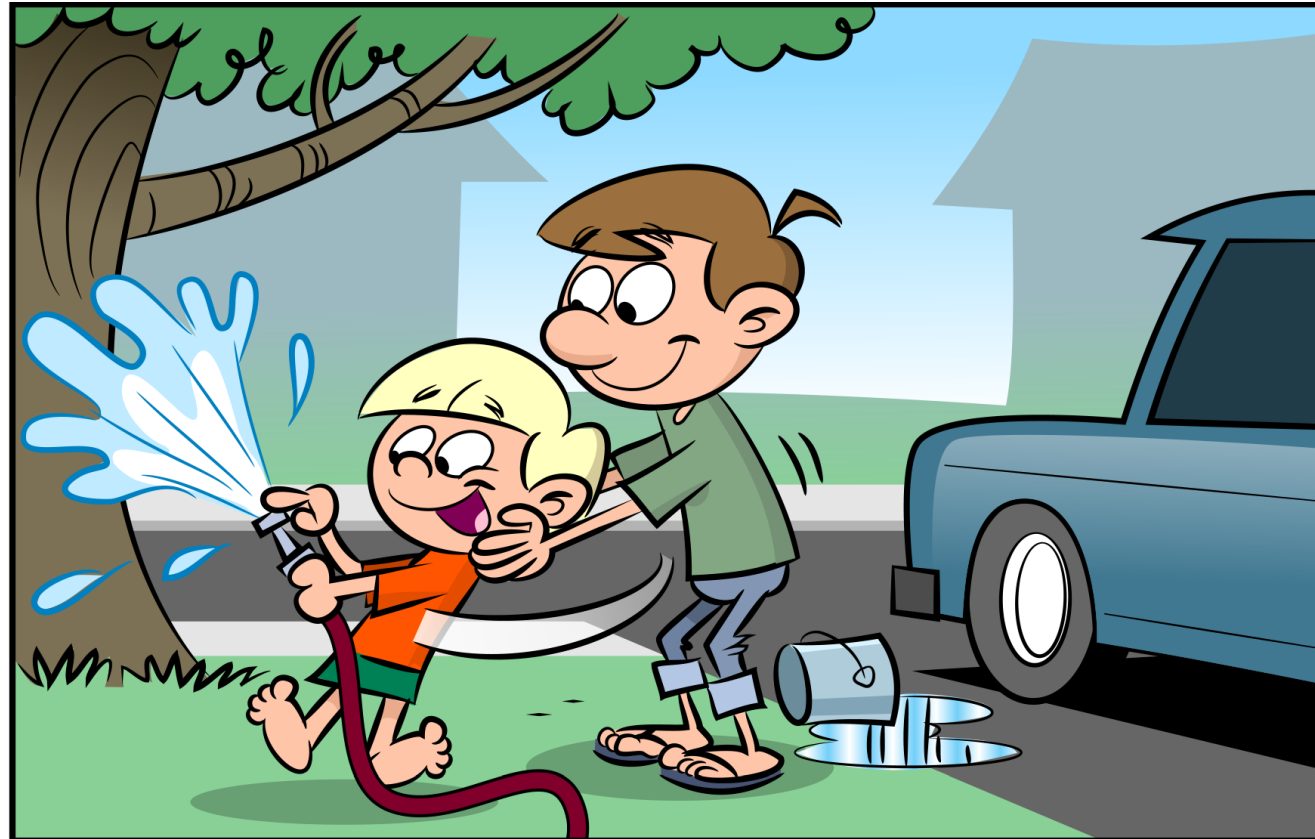
イエス様：それは、よろいを 着るよりも いいんだ。だれかが 君を
いらいらさせるような ことを しても、それから 守ってくれるだけでは
なく、そういった 不快な 気持ちを、魔法のように、愛や やさしい
行いに 変えてくれるんだ。

イエス様：愛とは、そんなに力強いんだよ。わたしが愛だっていうことを、忘れちゃいけない。わたしは、かなり強^{つよ}いってことだ。だから、もっと大きな愛^{あい}をもつためのヒケツは、わたしを^き着ることだよ。そして、自分の^{じぶん}気に入らないことが^{おこ}った時^{とき}でも、すぐさまわたしを^{さんび}賛美し、^{かんしゃ}感謝するんだ。

サム：どうやったら、イエス様を^き着ることが^さできるのですか？



イエス様：わたしを^き着るのは、ロングコートを^き着るようなものだよ。コートは、ただ腕^{うで}に^も持っていたり、そばに置いておくための^おものではないだろう？ 体^{からだ}を^{あた}ため、寒^{さむ}さから^{まも}守られるには、^き着なくては^いけないよね。



イエス様：わたしを^{さんび}賛美し、わたしの^{ことば}言葉を^よ読み、^{したが}従い、わたしを^{あい}愛し、わたしと^おしゃべりし、わたしの^{こえ}声に^{みみ}耳をかたむけて、わたしと^{いっしょ}に時間を^{じかん}過ごせば、わたしを^き着ることが^さできるよ。

サム: それは、とても ^{たの}楽しそうですね。・・・ぼくが、
そういったことを ^{わす}忘れないと いいんだけど。

イエス様: ^{さま}心配しなくても ^{しんぱい}だいじょうぶだよ。もし ^{わす}忘れたら、わたしが
^{おも}思い出させてあげよう。そして、そういったことを ^{おも}思い出したら、それは、
わたしが ^{きみ}君と ^{じかん}いっしょに ^す時間を ^{おも}過ごそうと ^ださそっているという
ことだからね。わたしは、^{きみ}君と ^{おも}いっしょに ^{おも}いたいと ^{おも}思っているのだから。

